

# おばま 市議会だより

No. 180



物価高騰緊急支援給付金給付事業などの  
予算議案を可決

# くまなくチェック 委員会審査



## 6月補正予算の審査

### ■ 可決した6月補正予算

	既決予算額	補正額	合計
一般会計	163億9,003万円	2億358万円	165億9,361万円
特別会計	69億5,343万円	2,004万円	69億7,347万円
企業会計	43億2,480万円	—	43億2,480万円
合計	276億6,826万円	2億2,362万円	278億9,188万円

6月定例会では、エネルギーや食料品価格等の物価高騰に直面し、影響を受ける低所得世帯に対して給付金を給付する「物価高騰緊急支援給付金給付事業」などの補正予算案を可決しました。審査の過程であった主な質疑は、次のとおりです。

### 秋冬の新型コロナウイルスワクチン接種実施

予防接種事業  
6,601万2,000円

新型コロナウイルス感染症の予防接種を、65歳以上の方と60歳から64歳で重症化リスクの高い方を対象として、令和6年の秋冬に実施するもの

### 新たに住民税非課税となった世帯などへの支援

物価高騰緊急支援給付金給付事業  
4,235万7,000円

物価高騰による負担増を踏まえ、低所得世帯を支援するため、今年度に新たに給付の対象となった世帯に対して1世帯当たり10万円を給付、また、その世帯の18歳以下の児童1人当たり5万円を給付するもの

問

給付金の申込みに必要な確認書を7月中旬に送付し、申込み締切りを8月末としているが、締切りまでの期間が短いのではないかと。

答

対象者に早期に給付金を給付したいとの考えから、申込み締切りを8月末とした。申込みのない方に対しては確認書を返送するように再度通知し、可能な限り柔軟に申込みに応じる。

問

ワクチンの接種費用が有料となる今年度において、接種対象者数9,747人に対し、無料であった令和5年度7回目接種の接種率55%を用いて見込みの接種人数を算出した理由は。

答

明確な算出根拠がない中、有料での新型コロナウイルスワクチンの接種は初めてであり、確実な予測が困難なため、既に有料で実施しているインフルエンザワクチンの令和5年度接種率57.8%を参考に、55%を超えることはないと思込んだ。

## 小学校施設改修事業

209万8,000円

### 説明

西津小学校の給食室の雨漏りを防ぐため、屋上に生じた亀裂箇所の防水工事を実施するもの。

### 問

校舎の維持管理体制は。

### 答

3年に1度、大規模な点検を実施し、必要に応じて修繕工事等の対応をしている。

### 問

防水工事の施工内容は。

### 答

施工箇所92㎡に対してウレタン塗装による防水処理を施す。

## 若狭彦神社（上社）修理事業

968万円

### 説明

若狭彦神社本殿の屋根の老朽化が進み、早期に修理する必要がある。県と市、当社が協力して修理事業を行うに当たり、市の負担金を計上したもの。また、市と同額の神社側の負担金を氏子による寄付とクラウドファンディングにより調達する。

### 問

神社側の負担金調達の見通しは立っているのか。

### 答

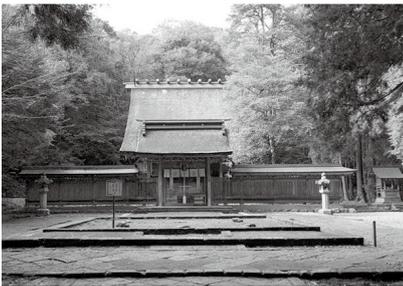
氏子が地元を中心に寄付のお願いに回っているが、高額であるため、広く市民から、さらには全国から支援を受けることができるクラウドファンディングを計画している。現時点では調達の見通しは立っていないが、市として積極的に支援を行い、地元と共に事業費の確保に努めたい。

### 問

事業の次年度以降の継続の方針は。

### 答

今年度中に本殿の全ての屋根の葺き替えを完了するのは困難であり、次年度も継続して実施する予定である。本殿の屋根の修繕を令和7年度中に終え、その後、門の屋根の修繕を検討している。



若狭彦神社本殿・神門

## 条例・契約の審査

小浜市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用および特定個人情報提供に関する条例の一部改正について

### 説明

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律が令和5年6月9日に公布されたこと等に伴い、所要の改正を行うもの。

### 問

本来は法律で規定しなければならぬ特定個人番号利用事務と利用特定個人情報報告が主務省令で規定されたことに関して、法律では、主務省令で規定する利用範囲はマイナンバーカードが利用できる事務に準ずる事務と規定されているがその事務にはどのようなものがあるか。

### 答

準法定事務及び準法定事務処理者を定める政令では、外国人に対して生活保護法による保護の決定や実施などを行う「生活に困窮する外国人に対する保護の実施」と、地域優良賃貸住宅制度要綱に規定する公共供給型の地域優良賃貸住宅の建設および管理を行う市町村等が実施する地域優良賃貸住宅の管理に関する事務を行う「地域優良賃貸住宅の管理」とを準法定事務としている。



## 小浜市防災行政無線設備更新工事請負契約の締結について

### 説明

小浜市防災行政無線設備更新工事請負契約を締結するため、地方自治法第96条第1項第5号および議会の議決に付すべき契約および財産の取得または処分に関する条例第2条の規定により、議会の議決を求めるもの。

### 問

防災行政無線設備の更新については、現契約業者との随意契約が適当と考えるが、契約方法を制限付一般競争入札とした理由は。

### 答

現契約業者以外の業者でも既存の設備との連携が取れるため、不良不適合業者の排除と工事等の品質確保のほか、経費を最小限に抑えるため、制限付一般競争入札とした。

## ● ホームページをご覧ください

採決結果や次回定例会の日程、本会議の動画配信(本会議終了後2週間程度で視聴できます。)など、さまざまな情報を掲載しています。



## 請願の審査

日本政府に「核兵器禁止条約」への参加・署名・批准を求める意見書を提出することを求める請願書

### 内容

日本政府が核兵器禁止条約への参加・署名・批准の手續を進めるよう、国への意見書の提出を求めるもの。

### 主な賛成意見

核兵器が使用されたら、人類の滅亡につながる。核兵器の及ぼす影響の深刻さに目を向けないといけない。

### 主な反対意見

「核兵器の使用等の禁止は望むものではあるが、日米安全保障条約などアメリカとの関係を切り離して考えることはできない。核兵器保有国の理解と参加がない現時点では当条約は実効性に乏しく、非現実的である。」

「核兵器禁止条約に参加・署名・批准したとして、本当に安全を確保できるのか。日本は核兵器不拡散条約を批准し、核兵器の拡散防止や核軍縮等を訴えている。」

「訪問介護費の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める意見書」を国に提出することを求める請願書

### 内容

介護人材確保のために、訪問介護費の引下げ撤回と介護報酬引き上げの再改定を早急に行うよう、国への意見書の提出を求めるもの。

### 主な賛成意見

衆議院の厚生労働委員会で、介護・障害福祉分野の人材の確保及び定着を促進するとともにサービス提供体制を整備するための介護・障害福祉従事者の処遇改善に関する件が全会一致で可決されたが、地方議会からも意見書を提出すべきである。

### 主な反対意見

「今回の処遇改善は一定程度評価できるものである。」

「厚生労働省は、社会保障審議会介護給付費分科会において、訪問介護の報酬減額について検討し直す内容が含まれた令和6年度介護報酬改定の効果を検証する計画を発表している。専門委員会での効果検証が9月に実施され、来年3月に報告されることが決定しており、意見書を提出する意義はない。」

※採決結果は、5ページの「賛否が分かれた議案等」のとおり

# 令和6年第2回定例会の採決結果

## 賛成全員で可決、同意した議案等

項目	件名	項目	件名	
報告	令和5年度小浜市一般会計予算繰越明許費の報告について	条例	令和6年度小浜市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	
	令和5年度小浜市国民健康保険事業特別会計予算繰越明許費の報告について		専決処分につき承認を求めることについて(小浜市市税条例の一部改正について)	
	令和5年度小浜市水道事業会計予算繰越の報告について		専決処分につき承認を求めることについて(小浜市国民健康保険税条例の一部改正について)	
	令和5年度小浜市下水道事業会計予算繰越の報告について		専決処分につき承認を求めることについて(小浜市都市計画税条例の一部改正について)	
	株式会社ケーブルテレビ若狭小浜経営状況の報告について		小浜市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用および特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	
	小浜市総合卸売市場株式会社経営状況の報告について		その他	小浜市防災行政無線設備更新工事請負契約の締結について
	議会の委任による専決処分の報告について(損害賠償の額を定めることについて)		意見書	日本遺産ブランド力の強化と財政支援の拡充を求める意見書
予算	専決処分につき承認を求めることについて(令和5年度小浜市一般会計補正予算(第11号))	人事	公平委員会委員の選任について(浦谷和明さん)	
	専決処分につき承認を求めることについて(令和6年度小浜市一般会計補正予算(第1号))		公平委員会委員の選任について(滝民恵さん)	
	令和6年度小浜市一般会計補正予算(第2号)		固定資産評価審査委員会委員の選任について(平井良和さん)	
	令和6年度小浜市一般会計補正予算(第3号)			

## 賛否が分かれた議案等

否=賛成少数(不決・不採択) ○=賛成 ×=反対

項目	件名	採決結果	浦谷梨華子	佐野達也	上野一	世戸玉枝	杉本和範	東野浩和	川代雅和	岡泰宏	竹本雅之	牧岡輝雄	藤田靖人	池田英之	小澤長純	今井伸治	下中雅之	富永芳夫	池尾正彦	賛成	反対	
請願	日本政府に「核兵器禁止条約」への参加・署名・批准を求める意見書を提出することを求める請願書	否	×	×	×	○		×	×	○	×	×		×	×	×	×	×	×	×	2	13
	「訪問介護費の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める意見書」を国に提出することを求める請願書	否	×	×	×	○		○	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	2	13

※藤田靖人議員は議長のため、採決には加わっていません。

※杉本和範議員は6月20日付けで辞職したため、同月27日の採決には加わりませんでした。

# 総合振興協議会を開催しました

## ◆ 総合振興協議会とは…

地域発展のため、小浜市と近隣町の議員が出席し、両市町に共通する課題に関する研修や意見交換を行っています。

### 小浜市・おおい町総合振興協議会

開催日：7月26日（金）

開催地：小浜市

#### ○北陸新幹線敦賀開業の効果と誘客促進の取組みについて

福井県嶺南振興局嶺南プロジェクト推進室の担当者から、北陸新幹線敦賀開業後、特に関東・信越から嶺南地域への来訪者が大幅に増加した一方で、嶺南西部の観光地の入込み客数の伸び率は敦賀駅周辺の観光地に比べて緩やかであること、関西圏からの来訪者比率が増えていることなどについて説明がありました。

議員からは、何度も来訪してもらえよう開業直後の効果を持続させる長期的な視点の必要性についてや、嶺南西部の誘客促進に向けた課題と取組みなどについて質疑がありました。

#### ○北陸新幹線 小浜・京都ルートについて

福井県新幹線建設推進課の担当者から、北陸新幹線全線開業による効果について説明があった後、現在進められている事業推進調査の内容や全線開業の機運醸成のための活動などについて説明がありました。

議員からは、発生土の処理や地下水が枯れることなどの懸念への対応を確認する質疑があったほか、事業費の増加と運賃との関係を確認する質疑などがありました。

### 小浜市・若狭町総合振興協議会

開催日：7月30日（火）

開催地：若狭町

#### ○観光振興を地域づくりにつなげる熊川のまちづくりについて

株式会社デキタ代表取締役の時岡壮太氏による、熊川宿のまちづくりについての講演がありました。どのようなコンセプトでまちづくりを行ってきたか、本来宿泊施設ではない古民家を宿に改修する際に苦労された話や、新たな取組みであるキャンプ施設「山座熊川」についてのお話をいただきました。

小浜市においてのまちづくりを進める上で参考となる、有意義な講演でした。

#### ○現地視察（レインボーライン山頂公園）

レインボーラインの職員から、施設の紹介や北陸新幹線敦賀開業後の利用者数の変化等についての説明があった後、施設の見学を行いました。

議員から、小浜市のエンゼルライン活用の参考とするために、上下水道施設の整備方法について質疑があったほか、レインボーラインを訪れた方の宿泊先や、他にどのような観光地を訪れているかといった質疑がありました。



現地視察において説明を受けました

# 市政を問う！一般質問

令和6年第2回(6月)小浜市議会定例会

氏名	質問項目	氏名	質問項目
佐野 達也	1. 北陸新幹線敦賀開業後の市内の観光について 2. 地域防災について	東野 浩和	1. 障がい者への合理的配慮について
上野 一	1. コウノトリの地域ブランド化について	世戸 玉枝	1. 「官から民へ」は見直しするときでは 2. 水道事業の広域化について 3. 国民健康保険税水準の県内統一化について
浦谷 梨華子	1. カーブミラーと住民への安全対策について 2. 病児・病後児保育事業について	今井 伸治	1. 介護について 2. 小浜市総合戦略について

※一般質問の原稿は発言議員が自ら作成しています。二次元コードを読み取ると、一般質問の様子を動画でご覧いただけます。

## 北陸新幹線敦賀開業後の動向について



佐野 達也



**問** 北陸新幹線敦賀開業後における小浜市内全体の観光入込みはそれほど増えていないように感じるが、現状の分析と今後の取組みについて伺う。

**答** 小浜の観光入込みについては、新幹線駅周辺に地域に比べると少ないのは事実。引き続き本市の魅力発信し、新幹線を利用して福井県を訪れる観光客の足を小浜へと向けようという取組みが必要と考えている。甲信越・北関東エリアについては海に面していないこともあり、今後の観光プロモーションにおいて海と食文化が融合した本市の魅力積極的に発信していく。

**問** 敦賀からのアクセス手段の現状と今後の取組みについて伺う。

**答** レンタカー利用が大幅に増えたことを受け、8月からレンタカー代金を割引く実証事業を実施する。今後も引き続き小浜線を基軸として、多様な二次交通手段をうまく組み合わせながら、敦賀から本市への交通アクセスの向上を図ってまいりたい。

**問** 小浜の食のコンテンツをさらに伸ばすための新たな取組みについて伺う。

**答** 福井県ブランド「ふくい若かき」のお披露目を食文化館で開催し、試食会では身の詰まりが良い、味が濃厚など非常に高い評価をいただいた。今後も高品質なカキの生産拡大に取り組みとともに、市内取扱い店舗の拡大ならびに市内外への販売開拓および情報発信に努めていきたい。

## コウノトリから始まる小浜の未来



上野 一



**問** 小浜市コウノトリビジョンについて。

**答** 令和6年3月に策定した「小浜市コウノトリビジョン」は国内最後にふ化した場所であり、そのコウノトリをシンボルとして地域の豊かな自然環境を保全し、次世代に伝えていく事を目的としている。その実現に向け「自然・食・農が融合し人もコウノトリも豊かに住み続けられる小浜市」を目標に掲げ、3つの基本方針「コウノトリが生息できる自然環境の創出・環境にやさしい農業の推進と農地の保全・コウノトリと共生する人づくりと経済循環の創出」を定めた。

**問** 環境保全型農業の現状について伺う。

**答** 環境保全型農業に取り組む生産者の支援対策として、環境保全型農業直接支払事業を実施している。また、昨年度に取り組んだ生産者は9名おり、取組面積は2,572aであった。今後の推進予定については、販売ルートの確保が必要であることからJA福井県など関係機関と連携しコウノトリをシンボルとした付加価値を高めた農産物の生産や流通等について検討していく。

**問** コウノトリをシンボルとした地域経済の循環を促す環境経済について伺う。

**答** 「自然・食・農が融合し人もコウノトリも豊かに住み続けられる小浜市」を目指し、コウノトリを軸とした環境保全と地域経済の好循環が国富地区にとどまらず市内全域に広がるよう、引き続き支援していく。

## 病児・病後児保育のさらなる情報発信を！



浦谷 梨華子



**問** 病児・病後児保育事業の周知方法は、  
**答** 本事業は、保育園等の新規入園申込みの際に保護者の方にお渡しする「入園の手引き」への掲載、「赤ちゃん全戸訪問」の際や、妊娠届出時に母子健康手帳を渡す際に配付するチラシによりお知らせしている。また、本市の子育て支援情報サイト「すくすくおぼまつ子」への掲載をはじめ、公立小浜病院や中山クリニックのホームページ、本年4月からは子育てサービス施設検索システムにおいても情報を提供している。

**問** 本事業をより安心して利用できるよう、市の方で情報発信の強化を行っては。市の見解を伺う。  
**答** 本事業については、共働き世帯の増加や核家族化が進んでいる中、急な病気やケガの子どもを看護することができない状況となつた保護者にとっては、なくてはならないものであり、また、子育て世帯の方々の安心にもつながるものと考えている。このため、今後サービス継続を維持しつつも、保護者が勤務する事業所等の協力による子ども看護休暇といった制度の充実や、職場内での子育て世帯に対する理解などが求められていると考えている。

これを踏まえ、「第3期子ども・子育て支援事業計画」を策定し、これからの「子育てしやすいまち」の実現に向けて取り組んでいきたい。



## 合理的配慮のある豊かなまちをつくろう



東野 浩和



**問** 「障害者差別解消法」における合理的配慮の提供とは。  
**答** 行政機関等や事業者により、障がいのある人から、社会的障壁を取り除くために何らかの対応が求められたときに、負担が重すぎない範囲で対応を行うものである。また、対応が困難な場合でも、双方の対話を通じて相互理解を深め、対応策を検討することが重要とされている。

**問** 令和3年に公布、令和6年(本年)4月より施行された改正法の概要は。  
**答** 改正前は合理的配慮の提供において、行政機関等は「義務」、事業者は「努力義務」とされていたが、今回の改正法では事業者にも行政機関等と同等の義務化が明記された。

**問** 社会的に非常に重要な事であり、しっかりと周知が必要と考えるが、その状況は。  
**答** 県のできることから始めるという「できル」のPRや市公式ホームページにおいて、事業者への義務化を周知している。

**問** 今後の啓発・支援については。  
**答** 県では、昨年から「おもてなしのバリアフリー・合理的配慮推進事業」として、経費などの補助事業を実施している。本市においては、新しい健康管理センターに、健康や障がい、生活課題等に関する相談窓口を集約化し、関係機関と連携のもと、包括的な支援を強化しているところである。今後、障がいのある人への合理的配慮の提供が日常的で普通のこととなるよう努めてまいりたい。

### ◆議会活動日誌◆

- ◆4月
  - 3 (水) 広報推進特別委員会
  - 6 (土) 聖ルカ乳児ほいくえん新園舎落成式
  - 9 (火) 全員協議会、広報推進特別委員会
  - 13 (土) 蘇洞門開き、小浜市赤十字奉仕団大会
  - 14 (日) 小浜市の歴史と文化を守る市民の会総会および講演会
  - 16 (火) 若狭の語り部発足30周年記念式典、西小川・加尾・宇久道路改良促進期成同盟会総会
  - 17 (水) 産業教育常任委員会、小浜市・若狭町・高島市総合振興協議会会計監査
  - 18 (木) 北陸新幹線小浜・京都ルート早期実現小浜市民協議会役員会
  - 19 (金) 北陸新幹線早期全線開業特別委員会、小浜市交通指導員・小浜市防犯隊委嘱状交付式および出動式
  - 21 (日) O B A M A 若狭マラソン大会
  - 22 (月) ヘルステーションお披露目式
  - 23 (火) 北信越市議会議長会定期総会(福井市)
  - 24 (水) 議会運営委員会
  - 25 (木) 小浜市老人クラブ連合会総会
  - 26 (金) 北陸新幹線小浜・京都ルート早期実現小浜市民協議会中央要望(東京都内)
  - 29 (月) 小浜市障がい者スポーツ大会
- ◆5月
  - 1 (水) 全天候型子どもの遊び場キッズプレイパーク「なないろ」開館式典、議会運営委員会
  - 2 (木) 川越市公式使節団歓迎会
  - 8 (水) 行政視察受入れ(兵庫県朝来市)
  - 9 (木) 議会運営委員会
  - 10 (金) 全員協議会、産業教育常任委員会
  - 15 (水) 行政視察受入れ(埼玉県川越市)

# 民営化・広域化・統一化は見直しを



とま え せと 玉枝



- 問** 民営化に小浜市民から、疑問や反対の声があがっている。見直しの必要があるのでは。
- 答** 今後も市民サービスの向上や業務の効率化のため進めていく。
- 問** 民営化の悪影響を防ぐため、国は公共サービス基本法に照らし見直しを求めている。
- 答** 市は、業者と連携を図り、市の理念、市民の声も伝えている。
- 問** 人手不足は深刻だ。放課後デイサービスが1カ所閉鎖し、他の所で受け入れてもらったが、利用日数が減りたいへん困っている。
- 答** 事業者と緊密に情報共有し、運営に取り組んでいく。
- 問** 水道の広域化はなぜ必要か。
- 答** 共同購入、共同発注で安くする。
- 問** 地元の業者に発注していたのが、都会の業者に行くことで地域経済への影響はないのか。目先の金額で考えないで。水源も料金体系も違う水道の広域化は無理があるのでは。
- 答** 水源、施設の共同化でコスト縮減は望めない。市に効果があるなら、令和10年度に小浜水道ビジョンで方向性を示す。
- 問** 国保の県統一化は、市民にどういった影響があるか。
- 答** 統一後の保険料率はまだ決まっておらず、お答えすることはできない。
- 問** 他の自治体は、県内統一に向け、減額を行っている。市の減額について伺う。
- 答** 本市独自の減額は考えていない。

# 能登地震を教訓に／小浜線の活性化を



いま しんじ 今井 伸治



- 問** 北陸新幹線の全線開業に向けての市長の決意を伺う。
- 答** 北陸新幹線が昭和48年に整備計画が決定されて50年あまり、本市は小浜開業の悲願達成に向け、長年運動してきた。私は、福井県議会議員・市長としての29年間、北陸新幹線小浜開業を自らの政治課題として全力で取り組んできた。市民はじめ県、市議会、経済界と力を合わせ、懸命に要望活動を行った結果、平成28年に「小浜・京都ルート」が決定され、「これで小浜の未来が大きく拓ける」と確信した。去る3月16日、金沢・敦賀間が開業し、全区間の8割が完了したが、最も大事な事は、残り2割の敦賀・新大阪間の一日も早い全線開業を実現させることである。これにより、本市にも交流人口の拡大と大きな経済効果が見込まれると共に、大規模災害時の東海道新幹線の代替機能など、北陸新幹線の整備効果が最大限発揮される。現在、敦賀・新大阪間については「環境影響評価」が終了し、次の段階である予測・評価が行われており、駅位置・詳細なルートの公表が目の前に迫っている。そのため特に今年が敦賀・新大阪間の着工に向けた極めて重要な年であり、夏の概算要求や年末の政府予算編成に照準を合わせ、皆様としっかりタッグを組んで、私が先頭に立ち全線開業に向け、危機感を持って不退転の決意で取り組む。

（令和6年6月21日、松崎前市長による答弁）

17 (金)	議会運営委員会
18 (土)	小浜市区長総会、小浜男女共同参画ネットワーク総会
20 (月)	鯖街道まちづくり連携協議会会計監査、若狭マリノピア2024実行委員会、小浜市総合卸売市場株式会社取締役会、株式会社ケーブルテレビ若狭小浜定時株主総会
22 (水)	北陸新幹線建設促進大会および北陸新幹線建設促進同盟会総会（東京都内）、全国市議会議長会定期総会（東京都内）
24 (金)	鯖街道まちづくり連携協議会総会、嶺南広域行政組合議会代表者会議（美浜町）
28 (火)	行政視察受入れ（兵庫県稲美町）
29 (水)	議会運営委員会、北陸新幹線早期全線開業特別委員会
30 (木)	全員協議会
<b>◆6月</b>	
5 (水)	令和6年第2回小浜市議会定例会、予算決算常任委員会全体会、総務民生常任委員会、産業教育常任委員会
7 (金)	小浜市・若狭町・高島市総合振興協議会正副会長および事務局長会議
8 (土)	福井県北陸新幹線建設促進同盟会総会（敦賀市）
10 (月)	産業教育常任委員会 分科会
11 (火)	総務民生常任委員会・分科会、小浜ひまわり基金法律事務所引継式
15 (土)	北陸新幹線小浜・京都ルート建設促進同盟会理事会および総会
16 (日)	小浜消防団消防操法大会
17 (月)	議会運営委員会
18 (火)	県道岡田深谷線改良促進期成同盟会および深谷・相生間道路建設促進同盟会会計監査、小浜商工会議所議員懇親会
20 (木)	議会運営委員会、全員協議会、令和6年第2回小浜市議会定例会、広報推進特別委員会、予算決算常任委員会、各派代表者会
21 (金)	令和6年第2回小浜市議会定例会、総務民生常任委員会
24 (月)	予算決算常任委員会、広報推進特別委員会、各派代表者会

※次のページに続く

## 広報推進特別委員会 委員長の交代

議員辞職に伴い不在となっていた広報推進特別委員会委員長に、上野一委員が就任しました。



## 新たな議員の紹介

議員辞職に伴う小浜市議会議員の補欠選挙が、令和6年7月21日、小浜市長選挙と同時に執行され、武長由里子さんが新たに議員に就任しました。



氏名：<sup>たけなが</sup> 由里子  
住所：駅前町  
当選回数：1回

## 9月定例会の予定 — 議会を傍聴しませんか? —

以下の会議は傍聴することができます。

傍聴される際には、議場・会議室に入室される前に、必ず、市役所5階の議会事務局で受付をお願いします。会議の途中でも入退室できますので、ご都合のよい時間に、ぜひお越しください。

8月 26日 (月) 本会議・予算決算常任委員会	9月 19日 (木) 産業教育分科会調査 (令和5年度 決算)
30日 (金) 総務民生常任委員会・分科会調査 (9月補正予算・条例等)	20日 (金) 総務民生分科会調査 (令和5年度 決算)
9月 2日 (月) 産業教育常任委員会・分科会調査 (9月補正予算・条例等)	24日 (火) 総務民生分科会調査 (令和5年度 決算)
9日 (月) 本会議 (一般質問)	10月 1日 (火) 予算決算常任委員会
10日 (火) //	4日 (金) 本会議
11日 (水) 予算決算常任委員会	
17日 (火) 本会議	
18日 (水) 産業教育分科会調査 (令和5年度 決算)	

※状況に応じて、変更が生じる場合があります。

30 (火) 嶺南市町議長会定例会、小浜市・若狭町総合振興協議会 (若狭町)	29 (月) 広報推進特別委員会	26 (水) 若狭鯉川シーサイドパーク浜開き	◆6月	27 (木) 議会運営委員会、全員協議会、令和6年第2回小浜市議 会定例会	29 (土) 原水爆禁止国民平和実行大会	◆7月	1 (月) 社会を明るくする運動内閣総理大臣メッセージ伝達式、 大野市制施行70周年記念式典(大野市)	2 (火) 人魚の浜海水浴場浜開き、国道161号改良整備促進期 成同盟会・京都大原今津小浜間国道整備促進期成同盟会 合同総会(滋賀県大津市)	4 (木) 福井県原子力環境安全管理協議会(敦賀市)	5 (金) 議会運営委員会	7 (日) 綱女頭影祭	8 (月) 総務民生常任委員会、小浜市・若狭町・高島市総合振興協議会 (滋賀県高島市)、社会を明るくする運動街頭キャンペーン	9 (火) 北陸新幹線早期全線開業を求める中央要望活動(東京 都内)	10 (水) 産業教育常任委員会、議会報告会連絡会	11 (木) 若狭消防組合議会臨時会、行政視察受入れ(愛媛県西予 市)	17 (水) 広報推進特別委員会	18 (木) 行政視察受入れ(千葉県勝浦市)	20 (土) 福井県立若狭歴史博物館特別展「小浜藩医杉田玄白の挑 戦」解体新書出版250年「開会式	23 (火) 行政視察受入れ(宮城県登米市)	26 (金) 議会運営委員会、行政視察受入れ(長野県飯島町)、小浜 市・おおい町総合振興協議会、県道岡田深谷線改良促進 期成同盟会、深谷・相生間道路建設促進同盟会
---	------------------	------------------------	-----	--	----------------------	-----	--	--	----------------------------	---------------	-------------	---	---------------------------------------	---------------------------	--	------------------	------------------------	--	------------------------	---

## ◆議会活動日誌◆

# 6月定例会からタブレット端末を導入

5月10日、議員全員にタブレット端末が配付されました



講師の説明に耳を傾ける議員

## タブレット端末操作 説明会を行いました

5月30日に市役所にて、講師を招き、タブレット端末の基本操作の研修を行いました。



議会運営委員会の様子

## タブレットを使用して 会議を行っています

議員同士が協力し合い、「小浜市議会ペーパーレス会議の手引」に基づき、ペーパーレス化に取り組んでいます。

今後は、委員会等へのオンライン出席についても検討を進める予定です。

## 編集後記

6月定例会から、議会にタブレットが導入されました。これにより、職員は各課の資料を一冊にまとめる作業や、議員への各種資料の配付作業が軽減されました。

議員としても、タブレット内で資料が整理しやすくなると同時に、分厚いものや多くの種類の資料を持ち歩かなくてもよくなりました。あとは、タブレットの機能をいかにして使いこなすかにかかっています。

広報推進特別委員会 委員 竹本雅之



## 今号の表紙

「どんな生き物が  
いるかな？」

(次吉)

7月10日、コウノトリの人工巣塔近くの水路において、小浜美郷小学校の4年生が自然環境学習の一環で生き物調査をしました。

# 「日本遺産の活用について」 調査結果を取りまとめました

(産業教育常任委員会の所管事務調査)

「日本遺産」とは、地域の歴史的的魅力や特色を通じて日本の文化・伝統を語るストーリーをいい、文化庁が「日本遺産」として認定するものです。全国では、令和5年度までに104件が認定されています。

本市では、「海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産群〜御食国若狭と鯖街道〜」と「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間〜北前船寄港地・船主集落〜」の2件が認定され、その魅力の向上や活用を推進するために各種事業に積極的に取り組んでいます。しかし、「日本遺産」を知っている人は少ないのが現状です。

そこで、日本遺産の認知度を高めるための施策や日本遺産を活用した取組みについて調査を行いました。調査は、観光客向けの取組み、市民向けの取組みおよび国の取組みについて論点の整理を行い、現状と課題を認識した上で、今後必要な取組みについて協議を行いました。調査の結果を踏まえ、次の2項目について執行機関に提案しました。

①北陸新幹線敦賀開業、大阪・関西万博の開催など、日本遺産の活用促進の追い風となる出来事が重なる今を絶好の機会と捉え、SNSなどを活用し、国内外に日本遺産の魅力を効果的・効率的に発信する。こと。

②観光客のみならず、市民に向けても広く日本遺産に関する取組内容を周知し、観光ガイドなどの取組みを担う人



調査・議論を重ねました

材の発掘・育成を推進するとともに、将来にわたって取組みを推進することができると確信する。こと。

日本遺産がブランドとして確立するよう、国の内外に向けた積極的な情報発信等が必要であるとして、国に要望する事項について意見書に取りまとめました。

※調査内容の詳細は議会ホームページをご覧ください。



※「海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産群〜御食国若狭と鯖街道〜」が7月、全国で初めて「特別重点支援地域（日本遺産プレミアム）」に選定されました。

## 国に意見書を提出しました

### 日本遺産ブランド力の強化と財政支援の拡充を求める意見書（概要）

日本遺産のブランド力の強化と構成文化財の継承には、国における日本遺産の取組みの推進・強化が欠かせないと考え、次の2点について要望する意見書を国に提出しました。

- ①日本遺産がブランドとして確立するように、国の内外に向けて積極的に情報発信を行うこと。
- ②日本遺産を将来にわたって継承するため、財政支援の充実を図るとともに、補助対象事業を拡大すること。